しまねの河川と海岸だより

令和元年１２月号

発行：島根県土木部河川課

〔目 次〕

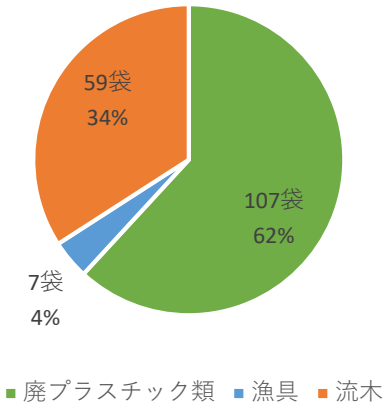
◆ 海岸清掃を実施しました。	松江県土整備事務所	
◆ マップ on しまねで洪水浸水想定区域を確認できます	河川課	企画調査Ｇ 防災Ｇ
◆ 映画「高津川」の鑑賞に行きました！！	河川課	番外編

海岸清掃を実施しました。

島根県松江県土整備事務所 維持管理部

島根県松江市島根町にある沖泊海岸にて海岸清掃を実施しました。清掃した範囲は 830m におよび、回収したごみの量は大型土のうで 173 袋分にもなりました。今回回収したごみの大半は廃プラスチック類であり、特にペットボトルや発泡スチロールが多かったです。

回収ごみの種類



清掃箇所：沖泊海岸

海岸漂着ごみは海の流れや風の力によってたどり着きます。日本から流れ出るもののほか海外から流れ着くごみもあり、2050 年には魚介類の量を超えると予想されています。こういった海岸漂着ごみは漁業などの仕事や魚などの動物に影響があり、ごみをなくして行かなければなりません。

海岸漂着ごみをなくすためにも、

- **ごみの量を減らす**
  繰り返し使える物を選ぶ
- **ごみの分別をする**
  決められた場所・時間に出す
- **「ポイ捨て」をしない**
  外で出たごみはきちんと処分する

こういったことから取り組んでいき、綺麗な島根の海岸をみんなで守りましょう！！

マップ on しまねで洪水浸水想定区域を確認できます

河川課　企画調査Ｇ・防災Ｇ

今年の台風 19 号では、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。被害のあった長野市の千曲（ちくま）川など８河川の流域にある約４０市町村の浸水状況が洪水浸水想定区域図とほぼ一致したという報道もありました。

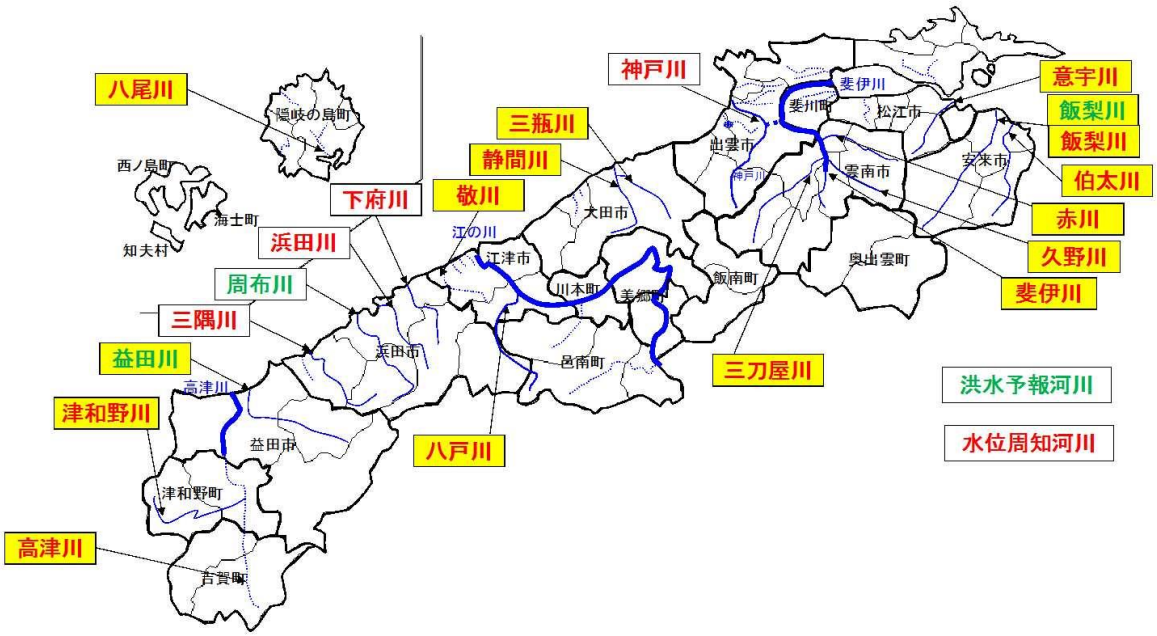
洪水浸水想定区域図は、水防法第 14 条に基づき、洪水予報河川及び水位周知河川を対象に作成しており、洪水ハザードマップなどに利活用されています。

島根県が管理する河川では、現時点で１５河川の洪水浸水想定区域図をマップ on しまねで詳細に確認できます。なお、その他未公開の河川については現在作成中のため、随時公開する予定です。

確認方法は次頁のとおりですので、一度ご覧ください。

（http://web-gis.pref.shimane.lg.jp/shimane/G0303A）

県管理河川における洪水浸水想定区域図の対象河川

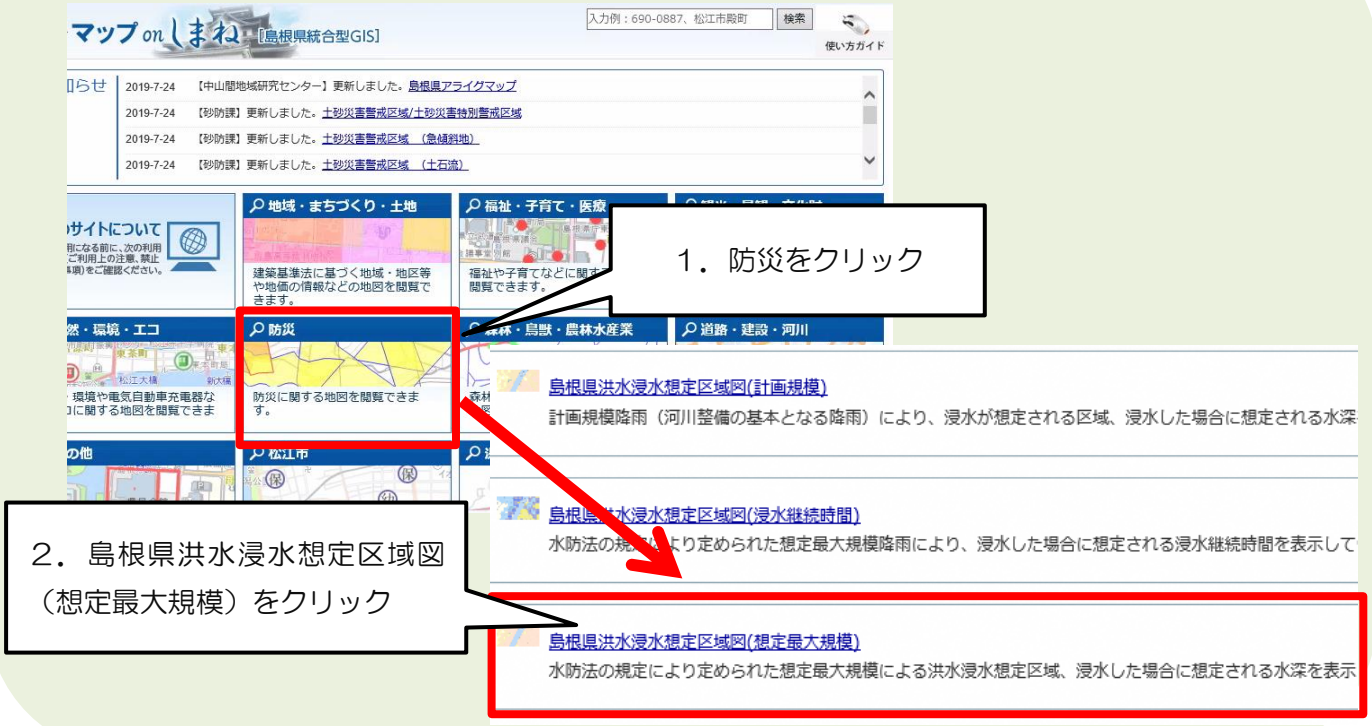


洪水予報河川（緑色）・水位周知河川（赤色）

＊黄色で塗られた河川を公開しています

◎**マップ on しまね**から以下の手順により浸水深が確認できます

【操作手順①】島根県洪水浸水想定区域図（想定最大規模）へアクセス



【操作手順②】検索箇所の浸水深を確認

※浸水深はシミュレーションによるもので実際とは異なる場合があります

映画「高津川」の鑑賞に行きました！！

河川課　有志

河川課の有志による福利厚生企画で、中国地方で先行公開されている映画「高津川」の鑑賞に行きました。

映画「高津川」は、出雲市出身の映画監督 錦織良成さんが初めて石見地方を舞台にした作品で、人口が減少し縮小していく地域で、石見神楽を受け継ぎながら生きる人々の姿を、ゆったりとした高津川の流れとともに描いた内容となっております。

以下は河川課の有志の感想です。

一級河川高津川

高津川を中心とした風景がちりばめられていました。とても懐かしく見させてもらいました。
一方で、沿川地域が抱える問題など、いろいろと考えさせられる映画でした。

過疎化、跡継ぎ、介護、文化継承など、地域の様々な問題に向き合う人々を滔々と流れる高津川を背景に映し出しています。
自身の身上とオーバーラップする部分があり琴線に触れる映画でした。

静かな、でも強烈に魂を揺さぶられた映画でした。
また、清流高津川がもたらす自然や人の営み、あるいは、川辺で思いにふける登場人物たちの姿を見て、改めて人々の生活に川が欠かせないことを感じました。

萩石見空港・空港ハチミツ・メロン・サイクリングなど益田市のネタ満載でしたが、泣かせる映画でした。

冒頭からの景色や町並み、そして人々の雰囲気など、自分の子供の頃の田舎の記憶がよみがえり、とても懐かしいというか切ないというか複雑な気持ちになりましたが、今の自分が忘れていた大切なものを思い出させてもらった気がします。

【編集後記】　河川課　企画調査グループ　行武

早いもので今年も間もなく一年が終わろうとしています。

振り返ってみると、今年は、島根県内においては大雨が少なく、災害も少なかった一方で、東部では渇水による取水制限が一時実施されるなど、どちらかといえば少雨の一年だったように思われます。しかし、全国的には、10月の台風19号による関東、甲信、東北地方の記録的な豪雨災害や、８月の九州北部地方における豪雨災害など、広範囲で大規模な災害が発生しました。報道で見るにつけ、他人事ではないように感じられ、改めて施設整備はもちろん、今月号で記事にしている浸水想定区域図の作成をはじめとするソフト対策など防災・減災の取り組みの重要性を感じさせられました。

近年、毎年のように日本のどこかでは大規模な災害が発生していますが、来るべき新年は平穏であって欲しいものです。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込めますのでこちらもご利用ください。

編集者　島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL：0852-22-5647　FAX：0852-22-5681　　mail：kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課　トップページ

https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/

河川課　しまねの河川と海岸だより HP

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/

出前講座申し込み HP

https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC 版　　URL：https://www.suibou-shimane.jp/pc

スマホ版　URL：https://www.suibou-shimane.jp/s

携帯版　　URL：https://www.suibou-shimane.jp/m

スマホ版　　携帯版

川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通　URL：https://k.river.go.jp/